

さいたま市の化学物質の排出量等の集計結果について（平成 29 年度 PRTR データ）

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」、通称化管法に基づき、人体や生態系に影響を及ぼすおそれのある特定化学物質の環境などへの排出量・移動量を、市内事業者からの平成 28 年度分届出について、市が独自に集計した結果がまとまりましたのでお知らせします。化管法において届出対象となる化学物質は 462 物質、また、対象業種は 24 業種です。

1 平成 29 年度分の集計結果の概要

(1) 届出事業所数

さいたま市で届出のあった事業所数は、145 件（平成 28 年度：145 件）で、県内の届出事業所数の約 10%を占めています（全国 34,253 件、埼玉県 1,478 件）。

(2) 届出排出量・移動量

届出のあったさいたま市分の排出量は、全事業所・全物質の合計が約 639 トン（平成 28 年度：約 957 トン）で、県内全体の約 9%を占めています（全国 152,017 トン、埼玉県 6,842 トン）。移動量については、約 554 トン（平成 28 年度：約 641 トン）で、県内全体の約 6%を占めています（全国 235,083 トン、埼玉県 9,977 トン）。

(3) 届出排出量の多い物質

届出のあったさいたま市分の排出量の多い上位 5 物質は、①トルエン（約 553 トン）、②キシレン（約 25 トン）、③ノルマルーヘキサン（約 16 トン）、④トリクロロエチレン（約 15 トン）、⑤エチルベンゼン（約 12 トン）でした。

(4) 届出移動量の多い物質

届出のあったさいたま市分の移動量の多い上位 5 物質は、①トルエン（約 279 トン）、②アセトニトリル（約 176 トン）、③キシレン（約 16 トン）、④N, N-ジメチルホルムアルデヒド（約 14 トン）、⑤エチルベンゼン（約 11 トン）でした。

(5) 業種別の排出量・移動量

届出のあったさいたま市の排出量の多かった上位 5 業種は、①ゴム製品製造業（約 406 トン）、②金属製品製造業（約 116 トン）、③プラスチック製品製造業（約 78 トン）、④燃料小売業（約 17 トン）、⑤化学工業（約 7 トン）でした。

移動量については、①医薬品製造業（約 188 トン）、②ゴム製品製造業（約 181 トン）、③金属製品製造業（約 83 トン）、④化学工業（約 48 トン）、⑤プラスチック製品製造業（約 29 トン）でした。

(6) 行政区別の排出量・移動量

届出のあったさいたま市分の排出量の多かった上位 3 区は、①岩槻区（約 525 トン）、②南区（約 47 トン）、③北区約 27 トン）でした。

移動量については、①岩槻区（約 215 トン）、②北区（約 197 トン）、③桜区（約 101 トン）でした。

(7) ダイオキシン類の排出・移動状況

届出のあったさいたま市分の排出量は約 0.0045g-TEQ で、移動量は約 5.9g-TEQ でした（全国：排出量 188g-TEQ、移動量 1,460g-TEQ）。

2 届出状況

(件)

業種	西区	北区	大宮区	見沼区	中央区	桜区	浦和区	南区	緑区	岩槻区	総計
パルプ・紙・紙加工品製造業										2	2
化学工業	2	1		1		4		1		1	10
医薬品製造業	1	1									2
プラスチック製品製造業		2		1				1		3	7
ゴム製品製造業										2	2
なめし革・同製品・毛皮製造業										1	1
鉄鋼業		1									1
非鉄金属製造業				1							1
金属製品製造業		6			2	1				5	14
輸送用機械器具製造業					1					1	2
船舶製造・修理業、船用機関製造業		1									1
医療用機械器具・医療用品製造業				1							1
その他の製造業			1							1	2
下水道業							1				1
鉄道業			1								1
燃料小売業	9	12	3	13	8	6	5	6	9	10	81
洗濯業			1							1	2
計量証明業								1			1
一般廃棄物処理業（ごみ処分量に限る）	2			2		1			3		8
産業廃棄物処分量				1						1	2
高等教育機関						1					1
自然科学研究所					1			1			2
合計	14	24	6	20	12	13	6	10	12	28	145

3 市内の届出排出量・移動量

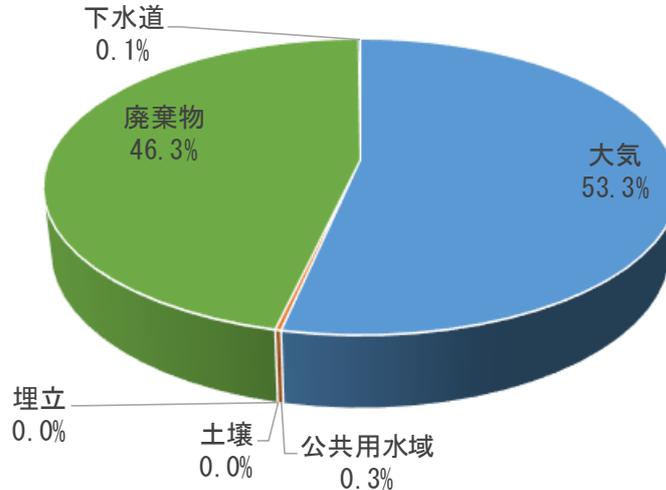
市内の事業所から届出のあった総排出量が約 639 トン、総移動量が約 554 トンで、その合計の総排出量・移動量が約 1,193 トンでした。

排出量の内訳は、大気への排出が約 636 トン、公共用水域への排出が約 3.0 トン、土壌と埋立への排出はありませんでした。

また、移動量の内訳は、廃棄物としての移動が 552 トン、下水道への移動が約 1.5 トンでした。

	さいたま市 (t/年)	全国 (t/年)	埼玉県 (t/年)
総排出量	639 (957)	152,017	6,842
大気への排出	636 (954)	137,707	6,630
公共用水域への排出	3.0 (2.9)	7,040	212
土壌への排出	0 (0)	3	0
埋立処分	0 (0)	7,267	0
総移動量	554 (641)	235,083	9,977
廃棄物としての移動	552 (639)	234,139	9,930
下水道への移動	1.5 (1.6)	944	47

カッコ内数値は平成 28 年度分の集計結果



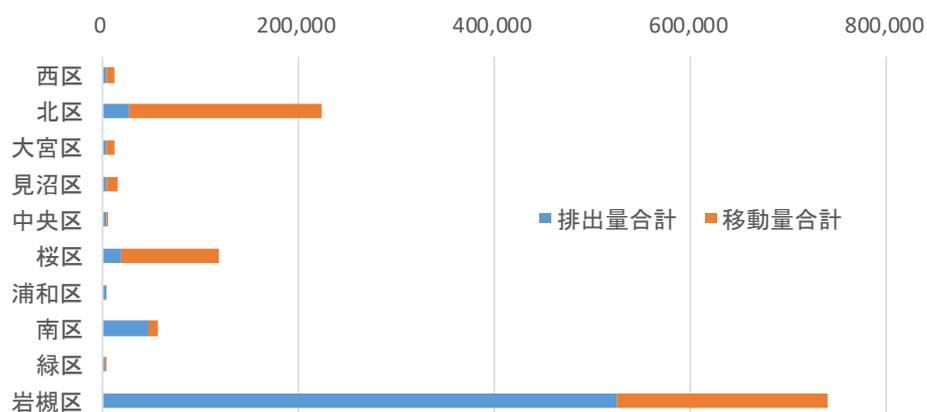
さいたま市における届出排出量・移動量の割合

4 行政区別の排出量・移動量

(kg/年)

行政区	報告事業所数	排出量					移動量			排出量・移動量合計
		大気	水域	土壌	埋立	合計	下水道	廃棄物	合計	
西区	14	3,239	178	0	0	3,417	9,295	0	9,295	12,712
北区	24	27,312	0	0	0	27,312	195,181	1,465	196,646	223,958
大宮区	6	4,032	0	0	0	4,032	8,490	0	8,490	12,522
見沼区	20	4,174	22	0	0	4,196	10,870	0	10,870	15,066
中央区	12	4,209	0	0	0	4,209	1,200	4	1,204	5,413
桜区	13	17,836	32	0	0	17,868	101,400	46	101,446	119,314
浦和区	6	800	2,726	0	0	3,525	0	0	0	3,525
南区	10	46,861	0	0	0	46,861	9,560	0	9,560	56,421
緑区	12	2,686	47	0	0	2,732	1,000	0	1,000	3,732
岩槻区	28	525,208	19	0	0	525,227	215,139	5	215,145	740,372
合計	145	636,358	3,023	0	0	639,380	552,135	1,520	553,656	1,193,036

(有効数字の関係上、各合計と内訳の合計が異なる場合があります。)



行政区別排出量・移動量

5 業種別の排出量・移動量

(kg/年)

業種	報告 事業所数	排出量						移動量				排出量・移動 量合計
		大気	水域	土壌	埋立	合計	構成比	下水道	廃棄物	合計	構成比	
パルプ・紙・紙加工 品製造業	2	770	19	0	0	789	0.1%	5	16	21	0.0%	810
化学工業	10	7,299	32	0	0	7,331	1.1%	46	48,187	48,232	8.7%	55,563
医薬品製造業	2	64	0	0	0	64	0.0%	1,465	186,100	187,565	33.9%	187,629
プラスチック製品製 造業	7	78,266	0	0	0	78,266	12.2%	0	28,549	28,549	5.2%	106,815
ゴム製品製造業	2	405,700	0	0	0	405,700	63.5%	0	180,560	180,560	32.6%	586,260
なめし革・同製品・ 毛皮製造業	1	850	0	0	0	850	0.1%	0	0	0	0.0%	850
鉄鋼業	1	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0
非鉄金属製造業	1	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0
金属製品製造業	14	115,500	0	0	0	115,500	18.1%	4	83,230	83,234	15.0%	198,734
輸送用機械器具製造 業	2	2,760	0	0	0	2,760	0.4%	0	0	0	0.0%	2,760
船舶製造・修理業、 船用機関製造業	1	1,200	0	0	0	1,200	0.2%	0	0	0	0.0%	1,200
医療用機械器具・医 療用品製造業	1	10	0	0	0	10	0.0%	0	0	0	0.0%	10
その他の製造業	2	592	0	0	0	592	0.1%	0	5,800	5,800	1.0%	6,392
下水道業	1	0	2,726	0	0	2,726	0.4%	0	0	0	0.0%	2,726
鉄道業	1	1,500	0	0	0	1,500	0.2%	0	1,700	1,700	0.3%	3,200
燃料小売業	81	17,027	0	0	0	17,027	2.7%	0	0	0	0.0%	17,027
洗濯業	2	2,100	0	0	0	2,100	0.3%	0	2,490	2,490	0.4%	4,590
計量証明業	1	2,200	0	0	0	2,200	0.3%	0	0	0	0.0%	2,200
一般廃棄物処理業 (ごみ処分量に限 る)	8	2	246	0	0	248	0.0%	0	5,900	5,900	1.1%	6,148
産業廃棄物処分量	2	0	0	0	0	0	0.0%	0	3	3	0.0%	4
高等教育機関	1	251	0	0	0	251	0.0%	0	7,800	7,800	1.4%	8,051
自然科学研究所	2	266	0	0	0	266	0.0%	0	1,800	1,800	0.3%	2,066
合計	145	636,358	3,023	0	0	639,380	100.0%	1,520	552,135	553,656	100.0%	1,193,036

(有効数字の関係上、各合計と内訳の合計が異なる場合があります。)

6 市内の届出排出量・移動量の多い物質

(一般的な用途)

トルエン	合成原料、ガソリン成分、溶剤
酢酸2-エトキシエチル	塗料、溶剤
アセトニトリル	合成原料、溶剤
キシレン	合成原料、ガソリン・灯油成分、溶剤
エチルベンゼン	合成中間体、溶剤、ガソリン成分
ノルマル-ヘキサン	合成原料、ガソリン・灯油成分、溶剤
トリクロロエチレン	代替フロン原料、金属の脱脂洗浄、溶剤
N,N-ジメチルホルムアミド	溶剤、触媒、ガス吸収剤
スチレン	重合原料(樹脂など)

届出排出量と移動量の上位10物質

(kg/年)

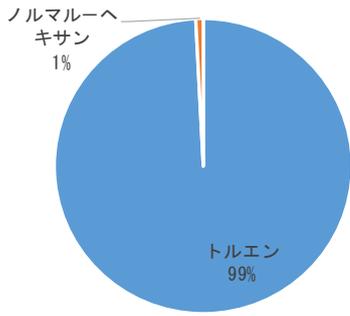
順位	排出量		移動量	
	物質名	排出量	物質名	移動量
1	トルエン	552,977	トルエン	279,002
2	キシレン	24,759	アセトニトリル	176,100
3	ノルマル-ヘキサン	15,699	キシレン	15,750
4	トリクロロエチレン	15,409	N, N-ジメチルホルムアミド	14,129
5	エチルベンゼン	12,316	エチルベンゼン	10,830
6	1, 2, 4-トリメチルベンゼン	4,309	スチレン	10,330
7	1, 3, 5-トリメチルベンゼン	2,107	ノルマル-ヘキサン	9,712
8	テトラクロロエチレン	2,103	クロロホルム	8,830
9	スチレン	1,419	マンガン及びその化合物	8,000
10	酢酸2-エトキシエチル	1,415	ジクロロメタン	3,300
	上記以外	6,865	上記以外	2,451
	合計	639,376	合計	538,434

(有効数字の関係上、合計と内訳の合計が異なる場合があります。)

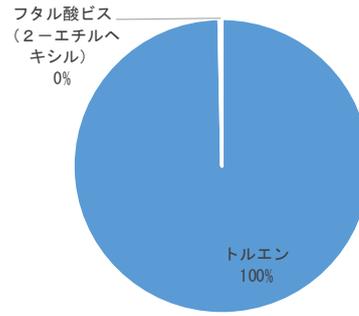
7 主な業種の上位物質

(kg/年)

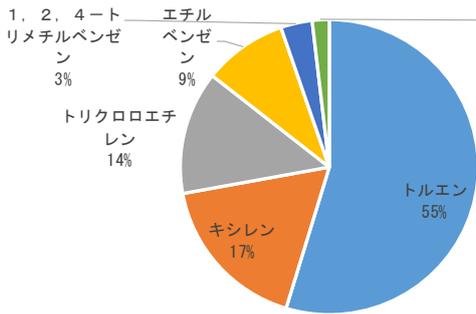
業種	排出量		移動量	
ゴム製品製造業	トルエン	402,400	トルエン	180,000
	ノルマル-ヘキサン	3,300	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	560
金属製品製造業	トルエン	62,400	トルエン	54,500
	キシレン	19,900	キシレン	13,800
	トリクロロエチレン	15,400	エチルベンゼン	9,900
	エチルベンゼン	10,400	トリクロロエチレン	1,200
	1, 2, 4-トリメチルベンゼン	3,900	ニッケル化合物	1,200
	1, 3, 5-トリメチルベンゼン	2,100	クロム及び三価クロム化合物	1,100
化学工業	トルエン	4,366	アセトニトリル	176,100
	キシレン	998	トルエン	20,800
	エチルベンゼン	857	N, N-ジメチルホルムアミド	13,000
	スチレン	299	マンガン及びその化合物	8,000
	アクリル酸ノルマル-ブチル	191	クロロホルム	5,130
	メタクリル酸メチル	161	ノルマル-ヘキサン	4,004
プラスチック製品製造業	トルエン	75,100	トルエン	20,700
	キシレン	1,680	スチレン	4,300
	エチルベンゼン	900	キシレン	1,460
	スチレン	530	フタル酸ジアリル	1,400
	ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	39	エチルベンゼン	550
	鉛化合物	17	ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	40



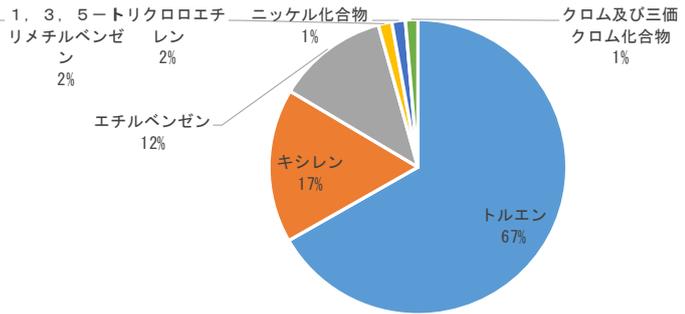
ゴム製品製造業／排出量



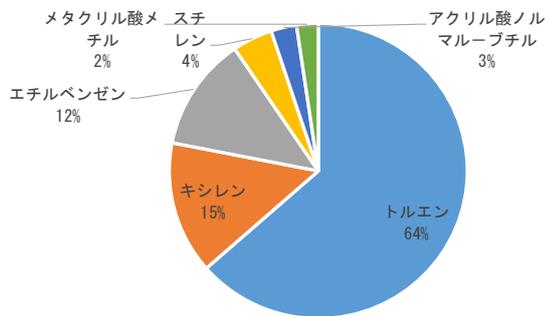
ゴム製品製造業／移動量



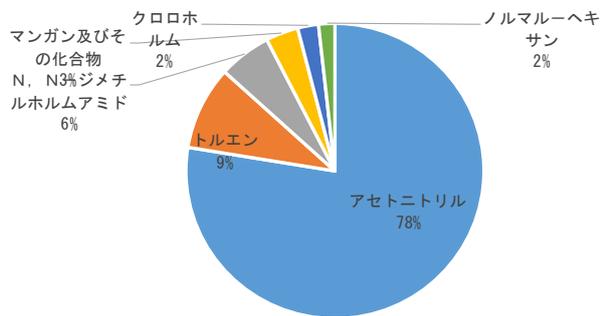
ゴム製品製造業／排出量



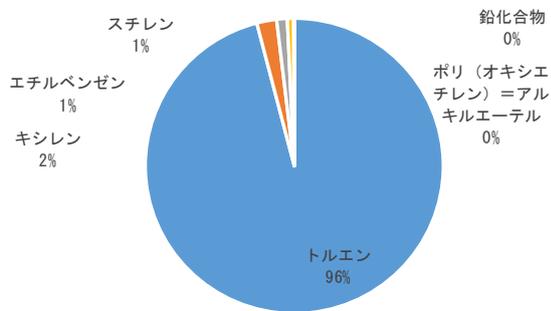
金属製品製造業／移動量



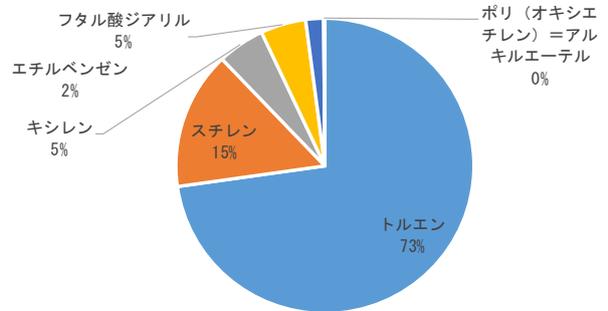
化学工業（医薬品製造業含む）／排出量



化学工業（医薬品製造業含む）／移動量



プラスチック製品製造業／排出量



プラスチック製品製造業／移動量

8 行政区別の排出量上位物質

(kg/年)

西区	
トルエン	1,813
ノルマル-ヘキサン	1,195
ベンゼン	115
ふっ化水素及びその水溶性塩	82
キシレン	74
マンガン及びその化合物	40

北区	
トリクロロエチレン	9,000
トルエン	5,729
キシレン	5,300
エチルベンゼン	3,958
1-ブロモプロパン	1,200
ノルマル-ヘキサン	1,073

大宮区	
テトラクロロエチレン	1,300
キシレン	773
トルエン	703
スチレン	590
ノルマル-ヘキサン	378
1, 2, 4-トリメチルベンゼン	246

見沼区	
ノルマル-ヘキサン	1,825
トルエン	1,518
キシレン	592
ベンゼン	173
エチルベンゼン	29
1, 2, 4-トリメチルベンゼン	27

中央区	
トルエン	2,459
ノルマル-ヘキサン	828
キシレン	815
ベンゼン	80
エチルベンゼン	14
1, 2, 4-トリメチルベンゼン	13

桜区	
トルエン	10,143
キシレン	4,842
エチルベンゼン	1,214
ノルマル-ヘキサン	753
アクリル酸ノルマル-ブチル	190
メタクリル酸メチル	160

浦和区	
ノルマル-ヘキサン	454
ほう素化合物	450
亜鉛の水溶性化合物	270
O-エチル=O-4-ニトロフェニル=フェニルホスホノチオアート	270
クロム及び三価クロム化合物	270
無機シアン化合物（錯塩及びシアン酸塩を除く。）	270

南区	
トルエン	41,663
ノルマル-ヘキサン	2,950
キシレン	1,246
エチルベンゼン	912
ベンゼン	75
1, 2, 4-トリメチルベンゼン	12

緑区	
ノルマル-ヘキサン	1,587
トルエン	796
ベンゼン	154
キシレン	99
エチルベンゼン	26
1, 2, 4-トリメチルベンゼン	24

岩槻区	
トルエン	487,898
キシレン	10,988
トリクロロエチレン	6,400
エチルベンゼン	6,131
ノルマル-ヘキサン	4,656
1, 2, 4-トリメチルベンゼン	3,919

9 ダイオキシン類の届出排出量・移動量

業種別届出排出量・移動量(届出のあった業種)

業種	届出件数	排出量 (g-TEQ/年)	移動量 (g-TEQ/年)	排出量・移動量合計 (g-TEQ/年)
化学工業	1	0.0004	0.0001	0.0005
その他の製造業	1	0.0020	0.0001	0.0021
燃料小売業	1	0.0001	0.0000	0.0001
一般廃棄物処理業(ごみ処分量に限る)	8	0.0019	5.9000	5.9019
産業廃棄物処分量	2	0.0001	0.0034	0.0035
合計	13	0.0045	5.9035	5.9080

(有効数字の関係上、各合計と内訳の合計が異なる場合があります。)

※ TEQ:毒性等量

ダイオキシン類の中の最も毒性の強い 2, 3, 7, 8-テトラクロロジベンゾ-パラ-ジオキシンに換算した量を毒性等量(TEQ)といいます。